

NPO法人丹波漆

チーム

チームテーマ

漆を未来につなぐには 一漆を知り、体験し、実践してみようー

主な活動場所

福知山市上夜久野町、京都市内、オンライン

チーム紹介



2



+ 先輩1名

私たち丹波漆学生チームは、主に4人で活動しています。

年齢も大学も出身地も皆違いますが、
丹波漆のために自分たちにできることは何か、
一緒に考え、切磋琢磨し、楽しく活動しています！！！！

活動紹介

3

① 漆について理解を深める



伝統ある漆について理解を深めるために、**オンラインを通じた学習会**や実際に**現地で漆を採取する様子を見学**させていただきました！



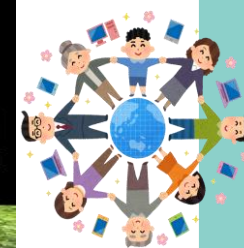
② 「うえるかむまつり」のお手伝い

1年に1度開催される、**「うえるかむ祭り」の様子を記録し報告文を作成**したり、当日に向けた**設備設置**を行いました！



③ インスタグラムの開設

今年度からより多くの人に丹波漆を知ってもらえるように**広報用のInstagramのアカウント**を開設しました！



私たちが感じた魅力

- ・ 植樹祭や見学を通じてNPO丹波漆の方々の他にも、漆の関係者と沢山出会うことができ、様々な視点から漆について学ぶことが出来ました。
- ・ 漆の魅力的なところは、ごく少量しかとることが出来ない貴重さと、漆塗りをした時の唯一無二の美しさだと思います。また、去年の植栽祭での発表は漆塗り以外にも建築や化学などの分野でも活用できる可能性があることも魅力だと感じました。
- ・ 自身の住む福知山市での植栽体験が出来ること、身近に漆があることが貴重だと実感しました。福知山市をはじめとして夜久野は漆が採取できる地域であるという認識を広め、植栽体験や丹波漆の広報は、丹波漆の技術を継承していくためにも必要だと思いました。
- ・ 夜久野の自然豊かな風景に心癒されました！！



感想

5

- ・2年連続の参加となりましたが、京都の学生の間で丹波漆の活動が少しずつ広がっていることを実感でき、とてもうれしく思います。今後も丹波漆の発展に貢献できるよう、引き続き関わっていきたいと思います。
- ・私は8月に学生プロジェクトに参加したばかりですが、植樹祭での現地活動で、漆のことを知るだけでなく、地域の人と触れ合うことで、普段得られないような体験をすることが出来たと感じています。漆の後継のため、1人でも多くの方に関心を持ってもらえるように、今年度は特に広報活動に力を入れたいです。
- ・漆を使った製品づくりとしての視点で漆を関わってきた私にとって、学生プロジェクトでの活動は植物としての漆という異なる視点で漆について理解を深めることが出来ました、植栽作業の体験で参加者の方々が漆に興味をもって楽しそうに作業をする様子を見て、この先もっと多くの人に漆を知ってもらえるよう活動を続けていきたいです。
- ・この学生プロジェクトに携わることで漆が日本の伝統工芸に欠かせない存在である前に、夜久野の街に欠かせない存在であることを実感しました。町のシンボルを絶やさないために自分にできることを精一杯頑張っていきたいです。
- ・5年前からの参加ですが、新しいメンバーがたくさん入ってきてくれて、活動に新しい風が入ってきているのを感じています。受入団体の方だけでなく、漆問屋の方など漆に関わる関係者の方と接することができたのが良い学びになりました。

